

## ■ シュリンクディスク型式のご紹介

タイプ	型式	トルク	MTの範囲 (カタログ 掲載値)	曲げモーメント・補足事項
2パーツ  トルク・ コントロール タイプ	TAS 3171	標準	36から2,830,000Nm	原則として、最大曲げモーメント $M_B$ は、 $M_T$ と呼応しています。シュリンクディスクへの軸荷重の負荷が0の場合で、最大 $M_T$ の0.3倍まで負担可能です。  ボルトの締付順序は、取付・取外し要領を熟読してください。規定トルクまで、この要領に従い、締付てください。
	TAS 3181	準高トルク	275から3,356,000Nm	
	TAS 3191	高トルク	13,413から2,276,000Nm	
	TAS 3193	高々トルク	15,657から2,653,000Nm	
2パーツ  ディスプレイ スメント・ コントロール タイプ	TAS 3173 (ミニ)	低	150から18,500Nm	原則として最大曲げモーメント $M_B$ は、 $M_T$ と呼応しています。シュリンクディスクへの軸荷重の負荷が0の場合で、3173、3173 1.4122を除き、最大 $M_T$ の0.3倍まで負担可能です。3173、3173 1.4122については、同じ前提で、 $M_T$ の0.2倍まで負担可能です。  ボルトの締付順序は、取付・取外し要領を熟読してください。 このディスプレイスメント・コントロールタイプは、規定内の軸公差、ハブ公差が確保された場合、締付をしていく段階で、内輪のフランジ上面と外輪のほぼ面一になったときに、締付トルク近傍になります。その場合でも、規定トルクに到達しない場合は、最後まで、要領に従い締め付けてください。また、面一になる前に規定トルクに到達した場合、そこで、締付作業は完了してください。
	TAS 3173 1.4122 (ミニ ステンレス仕様)	低	85から3,700Nm	
	TAS 3371	標準	20から16,493,000Nm	
	TAS 3381	準高トルク	1500から15,400,000Nm	
	TAS 3391	高トルク	2,600から16,300,000Nm	
	TAS 3393	高々トルク	30,000から19,200,000Nm	

(次ページに続く)

タイプ	型式	トルク	MTの範囲 (かたが 掲載値)	曲げモーメント
3パーツ	TAS 3073 (ミニ)	低	78から52,000Nm	シュリンクディスクへの軸荷重の負荷が0の場合で、最大MTの0.2倍まで曲げモーメントは、負担可能です。
3パーツ	TAS 3051	低	11,900から2,830,000Nm	In principle, the maximum bending moment corresponds to the maximum transmittable torque. The limitation to 0,3MT is due to the change of the surface pressure at the edges of the connection. 原則として、最大曲げモーメントは、MTと呼応しています。 シュリンクディスクへの軸荷重の負荷が0の場合で、最大MTの0.3倍まで負担可能です。 ボルト締付は、取付・取外し要領を熟読し、その指示された順序で締め付けてください。
	TAS 3071	標準	27から10,562,000Nm	
	TAS 3071 1.4122 (ステンレス仕様)	低	24から27,800Nm	
	TAS 3081	準高トルク	48から12,541,000Nm	
	TAS 3091	高トルク	890から4,116,000Nm	
	TAS 3093	高々トルク	1,000から4,897,000Nm	
	TAS 3051 Half&Sprit	低トルク	Halfは、 5,900から879,000Nm	
	TAS 3071 Half&Sprit	標準	Halfは、 14から5,281,000Nm	
	TAS 3091 Half&Sprit	高トルク	Halfは、 440から2,058,000Nm	